

〔記事〕

アメリカ合衆国ハワイ州 NP 視察研修報告

平成30年度日本NP協議会研修会に参加して

荒木とも子^{1) 2)}

1) 東北文化学園大学医療福祉学部看護学科

2) 東北文化学園大学健康社会システム研究科健康福祉専攻健康福祉NPコース養成分野

要旨

平成30年度一般社団法人日本NP教育大学院協議会主催「アメリカ合衆国ハワイ州NP視察研修会」の参加報告である。本研修会は、2012年より実施されている。本大学は、健康社会システム研究科健康福祉専攻健康福祉NP（Nurse Practitioner）コースを設けており、NP養成機関として協議会の会員大学である。アメリカ合衆国前大統領のオバマ氏の故郷であり、オバマケアの発想の原点ともいえる州である。アメリカの医療の中で、医師不足の解消、貧困層へのアプローチ等様々な問題を抱えているが、NPは人種や地域を問わず診察を担っており、州民のNPに寄せる信頼を強固にしていると感じた。アメリカ合衆国におけるNP誕生の歴史・教育、ハワイ州における医療事情、NPの位置づけ、医療裁量内容、活動施設を視察した。医師と同様の医療裁量権を得るまで20年の歳月を要したが、その間、着実に医療の担い手となる実践力、NP基礎教育、卒後研修の充実を図ってきたと思われる。

【キーワード】 アメリカ合衆国ハワイ州、NP役割・裁量権、日本NP教育、NP（診療看護師）

I. はじめに

本大学健康社会システム研究科健康福祉専攻では、健康福祉NPコースを設けている。大学院修士課程（NP養成機関）として、一般社団法人日本NP教育大学院協議会の会員大学である。平成30年度日本NP協議会主催「アメリカ合衆国ハワイ州NP視察研修会」への参加を報告する。

本研修会について、前日本看護連盟、現日本NP教育大学院協議会会長草間朋子氏は、「NP協議会では、2012年からNPの先進国であるアメリカにおいてNP研修を行っており、2014年からはハワイ州で研修を継続しております。研

修先をハワイ州に変更した理由は、アメリカ50州の中でNPの裁量権の範囲が最も広い州（検査のオーダー、薬剤処方を含めたほぼすべてのプライマリケアを自律して行うことができる）とされているからです。距離的にも日本と近く、時差も短いので、到着した当日から研修を組むことができ研修日程も短くでき、研修費用も安く済むというメリットもあります。」と述べている。

日本NP教育大学院協議会ホームページによると本協議会は、2009年10月1日に「日本NP協議会」として設立し、大学院修士課程におけるNP教育の標準化・制度化に向けた活動や社会的評価を獲得すべく活動している。2014年3

月 11 日には法人格を取得し、「一般社団法人日本 NP 教育大学院協議会」として新たなスタートを切った。平成 27 年 10 月 1 日には、「特定行為に係る看護師の研修制度」が創設され、この制度を取り込む形で教育を組み立て直し、今後、本協議会の目的の一つである、NP の制度確立に向けて進みたい。プライマリ領域として、慢性期医療は、主として在宅での慢性疾患患者への対応できる診療看護師、訪問看護/老健施設/特養療養型医療施設などで活動する NP を目指し、クリティカル領域として、急性期医療は、主として病院で急性疾患患者への対応ができる診療看護師、救急外来/ハイリスク患者 (ICU, CCU) /周手術期などで活動する NP を目指している。2018 年 3 月現在、日本全国で 359 名の登録がなされている。と述べられている。

NP の裁量権の範囲が最も広いアメリカ合衆国ハワイ州で行われた本研修会の位置づけは、諸外国の NP の歴史や役割、その活動を知ることである。その研修を受け、日本における NP の社会的認識・役割拡大の意義深さへの理解を深め、今後の進むべき方向を示唆するために必要であると考えられる。

II. 研修会日程

一般社団法人日本 NP 教育大学院協議会主催によるアメリカ合衆国ハワイ州オアフ島研修会は、2018 年 10 月 30 日～11 月 4 日に実施された。10 月 30 日 (火) 成田空港を出発 19:55 出発し、時差の中同日 10 月 30 日 (火) 8:00 ホノルル、ダニエル・K イノウエ国際空港到着した。ハワイ州では雨季であり、到着した時は小雨が降っていた。天気予報では、滞在中はすべて雨の予想であった。

宿泊場所は、アストン・ワイキキサンセットホテルであった。

参加者は全国から 17 名(看護部長 1 名・大学院看護教員 10 名・日本において教育を受けた

NP2 名・日本において教育を受けている NP 大学院生 2 名・医師 2 名)であった。

訪問行程は以下である。

10 月 30 日 (火) 魁生 (かいしょう) 峰子宅
(ハワイ州在住、NP として就労している日本人)

10 月 31 日 (水)

Tripler Army Medical Center

(米国陸軍・退役軍人病院)

Aloha Nursing&Rehabilitation

(老健施設アロハナーシングホーム)

11 月 1 日 (木)

Waianae Coast Comprehensive Health Center

(ワイアナエ地域医療保健センター)

Kapiolani Clinic

(カピオラニクリニック)

11 月 2 日 (金)

Queen's Medical Center

(クイーンズメディカルセンター)

Minite's Clinic

(ミニッツクリニックドラッグストア内開業)

11 月 3 日 (土)

オバマ前アメリカ大統領生家ハワイ大学周辺

1. 日本 NP 教育大学院協議会草間朋子会長講義

10 月 30 日 (火) 8:00 ホノルル、ダニエル・K イノウエ国際空港到着、現地入りしてそのまま日本人の NP 魁生峰子宅に於いて、草間朋子日本 NP 教育大学院協議会会長による「日本における NP の現状と日本 NP 教育大学院協議会 (JONPF)」講義が行われた。(図 1)



図 1 草間朋子会長による講義

法制化に向けての行政等の動向や看護協会の活動を紹介し、日本 NP 教育大学院協議会の活動を熱意のこもった講義で以下のように述べていた。

「日本における NP は患者・対象者の QOL の向上に寄与していくために医療安全を確保し自律的に初期医療（プライマリケア）を提供できる 7 つの能力、包括的な健康アセスメントの実践能力（検査を含む）、医療的処置マネジメントの実践能力（処方等を含む）、熟練した看護実践能力、看護管理能力、チームワーク・協働能力、医療・保健・福祉システムの活用・開発能力、倫理的意思決定能力を備えた看護師である。

また、日本の NP は、日本 NP 教育大学院協議会が認める NP 教育課程を修了し、日本 NP 教育大学院協議会が実施する NP 資格認定試験に合格した者で、保健師助産師看護師法が定める特定医行為を実施することもできる看護師としている。これまでの歩みは、系統的な養成教育（2008 年～）は、Advance 教育（大学院修士課程）・大学院修士課程」の教育資源を活用しており、制度的な仕組み（法制化）の整備（2008 年～）は、「構造改革特区制度」（構造改革特区の提案）を活用した。日本 NP 教育大学院協議会の活動は、法制化に向けての活動は、①看護界の意思統一②社会に NP 認知度を高めるための活動③NP の質保証のための課程認定・カリキュラムの改善・NP の資格認定試験・NP の資格更新/5 年毎（2017 年～）・NP に対する研修会の開催・NP の研究支援など④日本

NP 学会（2015 年）との連携である。名称を巡っては、[NP (Nurse Practitioner)]と[診療看護師]アメリカの NP をモデルに日本の NP (Nurse Practitioner)養成教育をはじめたため養成教育、制度化に向けての活動は、NP の名称を使ってスタートした。日本で NP を社会に受け入れてもらうためには、国民のみなさまに分かりやすい名称が必要と考え、日本語名を[診療看護師]とすることとした。

大学院修士課程（NP 養成機関）と特定行為研修に係る指定研修機関は、北海道医療大学大学院看護福祉学研究科看護学専攻、東北文化学園大学大学院健康社会システム研究科健康福祉専攻、山形大学大学院医学系研究科看護学専攻、東京医療保健大学大学院看護学 研究科看護学専攻、国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科保健医療学専攻、佐久大学大学院看護学研究科看護学専攻、愛知医科大学大学院看護学研究科看護学専攻、藤田保健衛生大学大学院保健学研究科保健学専攻、大分県立看護科学大学院看護学研究科看護学専攻である。NP が力を発揮し活動しやすい状況を確保する。法制化・就労環境の整備など「あせらず」「あきらめず」「あまえず」看護職が我がこととして努力を続けていきましょう!!」

2. ハワイ州在住 NP 日本人による講義

1) 魁生峰子氏講演

(Women's Health Nurse Practitioner)

魁生氏はオアフ島 Kapiolani Clinic に勤務している。「米国の周産期医療の現状と NP としての活動」について講義を受けた。概略として以下のような内容であった。「周産期医療の仕事内容では遺伝子カウンセリングを主に行っている。必要があれば専門医へ繋げている。プライマリケアプロバイダーが個々の患者おり、患者の症状に合わせて医療提供スケジュールを設けている。患者はアドボケイト[(advocate) 権利表明]の主張が強い。看護師としてのアセ

メント能力を認めてくれる。アメリカは経験を問われる。NP はどうやって経験を積むか、どんどん仕事を見つけて行うことが必要である。時間外に自分の仕事をしていると無能と見られる医療現場である。」

2) 三浦未喜氏講義

(Family Nurse Practitioner)

三浦氏は Waianae Coast Comprehensive Health Center 勤務している。「米国の医療制度・NP の制度等」について講義を受けた。概略として以下のような内容であった。

「ナースプラクティショナーの専門分野は救急ケア (Acute Care)、成人保健 (Adult Health)、家族保健 (Family Health)、老年保健 (Gerontology Health)、新生児集中保健 (Neonatal Health) がん診療 (Oncology)、小児保健 (Pediatric /Child Health)、精神保健 (Psychiatric/ Mental Health)、・ウーマンズヘルス (Women's Health) である修士課程での教育を経て認証試験を受ける。最近では、博士課程に進学するようになった。

NP の裁量権についてハワイは、アメリカの中でも最も認められている州のひとつで、自分でクリニックを持つことができ、麻薬を含む処方権が認められている。検査や治療、他科への紹介ができ、死亡診断書以外であれば診断書等健康に関する全ての書類にサインが出来る。予防医学活動すぐれている順番は NP>Dr. >RN である。」という内容であった。

講義は、ハワイでの NP の裁量権や活動の様子、多くの NP が博士課程に進む理由、アメリカ全土における州別裁量権の違いをお聞きした。NP が活躍するアメリカの医療事情、オバマ政権からトランプ政権への移行の影響も懸念されていた。

III. 施設見学

1. Tripler Army Medical Center

(米国陸軍・退役軍人病院)

本来部外者を受け入れない施設であるが、通訳のご主人が勤務しているという事で見学が許可された。病院の外壁は、ピンク色に塗装され、敵の攻撃を避ける為、軍の病院に見えないように工夫しているという事であった。(図2) 受付はハロウィン仕様になっていた。(図3)

広報担当者に案内して頂き ER 設備説明を受けた。(図4)、病院の最高司令官は看護師であり、我々の訪問に対して挨拶を頂いた。



図2 Tripler Army Medical Center 概観



図3 受付の飾りはハロウィン仕様



図 4 ER設備



図 6 細やかな動きの機器操作

スキルラボでは、現役兵士の怪我(銃創)、熱傷に対応できる人体シミュレーター、シミュレーター内のコマを移動させる細やかな動き手技の訓練に使われる機器等(図 6)、内視鏡訓練デモ機(図 7)等が潤沢に設置されていた。ラボの担当者から設備の使用方法の説明があり、参加者は自由に機器を使用することができた。トレーニングは、利用者がプログラミングして行い、スキルラボ担当者はアシスタントとして機器の管理、メンテナンスを行っている。との事であった。

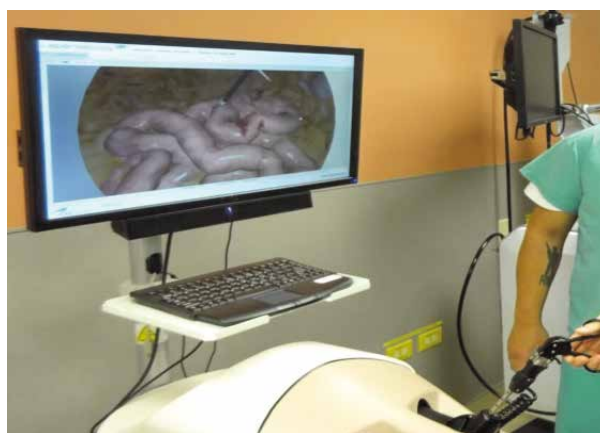


図 7 内視鏡訓練デモ機



図 5 銃創等、熱傷に対応人体シミュレーター

2. Aloha Nursing&Rehabilitation

(老健施設アロハナーシングホーム)

職員の方々がハロウィン仮装をして仕事をしていた。曜日ごとのプログラム説明があり入所用のベッドは褥瘡予防マットレス等の説明を受けた。(図 8)

この施設に勤務する NP ブライアン氏は「高齢者の A1c7.5-9.6 に維持する必要がある。糖尿病専門医は糖尿病より甲状腺などの診察をしている。NP が糖尿病疾患を診察している。」と述べていた。



図8 褥瘡予防マットレス

3. Waianae Coast Comprehensive Health Center (ワイアナエ地域医療保健センター)

オアフ島の西側「ワイアナエ」は貧困層が多い地域、住民を多く受け入れている病院である。

1) Miki Miura, MSN, APRN, FNP-CK の講義

以下の講義スライド、内容の公開は本文中に文献を挿入することを条件にご本人の許可を得ている。

① 「アメリカでの NP の役割と働き」

自己紹介(聖路加看護大学卒業。ハワイに移住、Registered Nurse 資格取得 & Hawaii Pacific University 看護学部卒業、ホノルル内の日系クリニックにて RN として勤務開始、Hawaii Pacific University Master of Nursing Family Nurse Practitioner コース卒業(卒業生総代に選ばれ卒業式でスピーチする)、オアフ島の開業産婦人科で NP として勤務開始、WCCHC に勤務、University of Hawaii at Hilo の Doctor of Nursing Practice コースに入学、現在 WCCHC にて NP としてフルタイムで働きつつ DNP 学生として奮闘中。

② 「NP の歴史」

アメリカでの医師不足、特に小児科不足を解消するため、経験の豊富なナースをさらに訓練させ、健康促進、病気早期発見を主に 1965 年にコロラド大学で初の NP プログラムが設立。

当初は小児科を専門にする NP が多かったが、専門範囲が徐々に多様化する。1970 年の初めに修士の NP プログラムができる。2000 年になり、ようやくアメリカ 50 州で NP が合法的に働けるようになる。2004 年 American association of Colleges of Nursing が 2015 年までにすべての NP プログラムが博士プログラム (DNP) になるように提言。アメリカでは現在 24 万 8 千人以上の NP が存在する。

③ 「NP とは」

修士以上を修得していることを必要とする(2015 年以降は博士号習得が推薦) 様々な専門がある。Family Practice、Women's Health、Pediatric、Psychiatric、Acute care。全国統一の試験を受け認定。免許は州ごとによって認められる。

④ 「NP としての役割・仕事内容」

問診(History taking)、身体検査(Physical examination)、診断検査のオーダー(Ordering diagnostic tests)、診断(Diagnosis)、薬の処方(Prescribing medications)、治療処置(Treatment procedures)、専門家への紹介(Referrals)、Follow up。NP の独立性や処方権の規則は州によって異なる。(図 9)ハワイでは NP は独立して診療でき、自ら処方箋も出せる。医師やその他の医療者とのコラボレーション。患者教育に重点。Acute NP は病院で働くが NP は主に外来で勤務している。

⑤ 「NP の特性」

NP は看護の特性を生かし、患者教育を得意、高い患者満足度、優れた医療の結果、医療費の低下への貢献、医師不足、特にプライマリケアの医療提携者不足解消である。

⑥ 「Waianae Coast Comprehensive Health Center とは」、ハワイ州の中で一番大きいアメリカ連邦局認可のコミュニティーヘルスセンター、年間 37,000 名以上の患者にケアを提供、オアフ島の西の過疎地を対象、患者層の 65%は

貧困層、ワイアナエはネイティブハワイアの割合が全世界で一番高い地域のひとつ、地域全体の健康促進以外に、地域の経済活性化にも貢献している。

1987 年に医師 1 名と 5 人のスタッフの小さなクリニックから始まった。ワイアナエにある主要クリニックを含め、全部で 5 つの施設。その他地域の中学、高校内のクリニックもある。救急、内科、小児科、産婦人科、精神科、循環器、皮膚科、栄養士、内分泌科、腎臓学、整形外科、足病学、歯科、眼科がある。ハワイアンヒーリングセンターを設置。45 名の医師と 37 名の NP が勤務。教育機関としての役割も持ち、NP 学生、歯科医学生、医学生、心理学生の臨床訓練の場を提供、2015 年より NP レジデンスプログラム設置。

NP の独立性や処方権の規則は州によって異なる。ハワイでは NP は独立して診療でき、自ら処方線も出せる。医師やその他の医療者とのコラボレーション。患者教育に重点、Acute NP は病院で働くが NP は主に外来勤務である。

⑦ 「私の WCCHC での仕事内容」

Women's Health に所属しているため、産婦人科系の診療が主、妊婦健診、避妊カウンセリング&治療（ピル・IUD 挿入など）、婦人科検診（子宮ガン検診、マンモグラムのオーダー）、不妊検査、性病検査&治療、婦人科系疾患の診療（不整出血など）、Primary care、インフルエンザ、風邪、喘息、高血圧、糖尿病、身体検査、予防接種など、Women's Health 部門はすべて NP（現在 11 人で構成）。ハワイ大学医学部の教授である産婦人科医とコラボレーションして働く。月に一回、全てのクリニックで働いている医師 & NP を含めての provider meeting がある。月に一回の specialty meeting ではゲストを招いたりして勉強会をしている。職場から継続教育の資金と休暇が与えられる。

⑧ 「看護職の責任の違い」

実践性の高い実習、患者－医療者の関係性の

違い、アメリカ全般での医師不足、産婦人科不足の悪化への懸念、18-34 歳の女性の人口の増加、州や地域間の産婦人科不足の差、ハワイ州全体では 14%不足、離島ではさらに深刻な産婦人科不足、アメリカ内の半数以上の産婦人科の診療所は NP/physician assistant/助産師を雇っている。9%の NP は産婦人科医と働いている。ハワイ・パシフィックの文化の妊娠に対する考え。

⑨ 「日本とアメリカの産婦人科の違い」

プライバシーの重要視、性教育、避妊についてオープンである。妊娠中の超音波の数は限られている。クリニックと出産する病院が違う。妊娠中の薬使用、患者が主体で決める治療。

⑩ 「最後に。NP になってよかったと思ったこと」患者さんとの繋がり、自立してやれることの拡大。自分のやりたいことがしやすい。地域との繋がり、様々な継続教育の機会である。

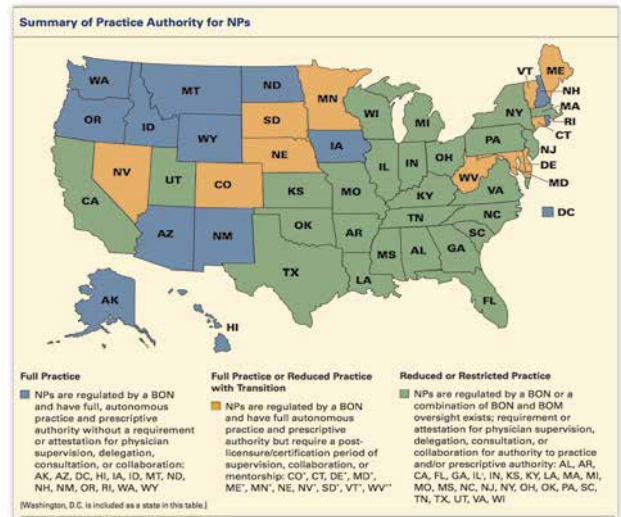


図 9 アメリカ合衆国州別 NP 裁量権について

○ American Association of Nurse Practitioners. (n.d.a). NP fact sheet. Retrieved from American Association of Nurse Practitioners website: <https://www.aanp.org/all-about-NPs/NP-fact-sheet>

- American Association of Nurse Practitioners. (n.d.b). *Historical timeline*. Retrieved from American Association of Nurse Practitioners website: <https://www.aanp.org/all-about-NPs/historical-timeline>
- American Association of Nurse Practitioners. (n.d.c.). *What's an NP?* Retrieved from American Association of Nurse Practitioners website: <https://www.aanp.org/all-about-NPs/what-is-an-NP#services>
- Dall, T. M., Chakrabarti, R., Storm, M. V., Elwell, E. C., & Rayburn, W. F. (2013). Estimated demand for women's health services by 2020. *Journal of Women's Health*, 22(7), 643–648. doi:10.1089/jwh.2012.4119
- Dellabella, H. (2015). *50 years of the nurse practitioner profession*. Retrieved from Clinical Advisor website: <https://www.clinicaladvisor.com/web-exclusives/50-years-of-the-nurse-practitioner-profession/article/453044/>
- Hawaii/Pacific Basin Area Health Education Center. (2017). *2017 workforce report for 2018 legislature*. Retrieved from <http://www.ahec.hawaii.edu/workforce/>
- Rayburn, W. (2017). *The obstetricians-gynecologist workforce in the United States: Facts, figures and implications, 2017*. Washington, DC: American Congress of Obstetricians and Gynecologists.
- Phillips, S. J. (2018). 30th Annual APRN legislative update: Improving access to healthcare one state at a time. *The Nurse*

Practitioner, 43(1), 27–54. doi:

10.1097/01.NPR.0000527569.36428.ed

- Waianae Coast Comprehensive Health Center. (n.d.). Progress report 2013-2017. Retrieved from Waianae Coast Comprehensive Health Center website: <http://www.wcchc.com/Content/About/WCCHC-Progress-Report-2013-2017.pdf> (原文のまま)掲載

4. Kapiolani Clinic(カピオラニクリニック)

日本人 NP 魁生峰子氏が勤務している。クリニックの概要説明や業務の説明があった。施設内も患者さんへの倫理的配慮の中で視察見学させて頂いた。

HAWAII PACIFIC VISION

To be the leader in health care transformation.

MISSION STATEMENT

To create a healthier Hawai'i.

STATEMENT OF STRATEGIC DIRECTION

Hawai'i Pacific Health will partner with physicians, health plans and the broader community integrate care delivery and optimize the health of Hawai'i.

1) ヴァレリー・ファーガソン氏 (Valerie Ferguson, FNP-C, MS) 講演

「Mid-level Provider Utilization in

Specialty Practice」と題して、ランチを取りながらの講義を受けた。

カピラウーマンズセンター内のサービスについて、ファミリープラクティスクリニックにおける低所得者用の乳がん、子宮頸がんスクリーニングプログラムがある。放射線科-マンモグラム(2D、3D、超音波、乳房の生検)、ハワイ大学のがんセンターとの連携を取っている。サバイバーシッププログラム、マッサージ・鍼灸、エクササイズ・各種クラスがあり、チーム

医療を実施している。という事であった。待合場所にはご意見箱が置かれてあった。(図 10)



図 10 ご意見箱

5. Queen's Medical Center

(クイーンズメディカルセンター)

カメハメハIV世が 12859 年に設立したハワイ州最大の私立病院である。

アメリカの診療事情の講義があった。医師はほとんどがクリニックで診療している。自分の受け持ち患者が入院して手術する場合、提携病院に行き手術、診療をする。病院には医師は常駐していないのが通常であるが、最近は病院勤務の医師ホスピタリスト(hospitalist-かかりつけ専門医のない患者を病院内で担当する医師、病院総合診察医)がおり、急変患者に対応すると言ったことを話していた。アメリカの医療状況が変わりつつある。

入口には、日本では見かけない大きなサイズの車椅子が置かれていた。(図 11) 病院内を案内され、「日本では病室に風船を持っていかないのか。入院している人が殺風景で寂しいでしょ」と言われた。(図 12)

クイーンズメディカルセンター、クリニックに在籍する APRN ‘S の説明とともに急性期 NP の活動、勤務現状、院内の見学(Psych(精神) ER は出口のみ)ができた。established diagnosis of diabetes(糖尿病の確定診断)をどのように行うかについて説明を受けた。

入口には、日本では見かけないサイズの大型の車椅子が置かれており、病院の売店は日本の殺風景な売店の比ではなかった。



図 11 患者さん用車椅子



図 12 病院の売店

5. Minite's Clinic ミニッツクリニック (ドラッグストア内)

日本でいうドラッグストア内で NP が開業している。交代で NP が勤務している。クリニックの前には、予約診察番号が分かる掲示板があり、買い物をしながら順番を待つことができる。大型のドラッグストアは、利用者が多く、予約制で診察、治療、処方を受けていることができる。診察、診断、処方といった仕事内容の説明を受けた。

IV. 研修所感

本論考は、平成 30 年度日本 NP 教育大学院

協議会主催「アメリカハワイ州 NP 視察研修会」の参加報告である。本研修会は、2012 年より実施されている。全国の看護管理者、看護師、看護教員等を対象としている。

アメリカ合衆国における NP 誕生の歴史、ハワイ州における医療事情と NP の位置づけ、活動施設、医療裁量内容、教育について視察した。アメリカ合衆国前大統領のオバマ氏の故郷であり、オバマケアの発想の原点ともいえる州であるアメリカにおける医療事情は様々な問題を抱えているが、NP は人種や地域を問わず診察を担ってきている。医師不足の解消とともに貧困層へのアプローチなど、州民の NP に寄せる信頼を強固にしていると感じた。お会いした NP は自身の資格に誇りと責任を持ち、自分の役割を十分に認識して活動していた。経験の浅い NP は研修や実践での指導において実力をつけているように感じた。アメリカにおける NP は、医師と同様の医療裁量権を得るまで 20 年の歳月を要し、いまだに、州によって範囲の違いはある。しかし、看護の視点を持ち、自律して診療と治療をしている事実是一緒である。裁量権の拡大は着実に広がっている。その間、着実に医療の担い手となる実践力、NP 基礎教育、卒後研修の充実を図ってきたと思われる。

NP の実績を研究という形で公表していくことも積極的に行われている。教育も博士課程へ多くの NP が入学し、自分たちの活動実績を研究的視点で公表していく。教育に関しては、近未来の日本の手本であると思う。

日本における NP 基礎教育は、今年度で 10 年目を迎える。日本 NP 教育大学院協議会の課程審査により認められた大学院において教育課程を修了し、かつ同協議会の行なう NP 資格認定試験に合格した看護師（同協議会で言う「診療看護師（NP）」）は東北文化学園大学健康社会システム研究科健康福祉専攻ナースプラクティショナー養成分野修了生を含めて現在まで 417 名を数えており、保健師助産師看護

師法第 37 条の 2 第 2 項第 1 号に規定する 特定行為に係る看護師の研修制度においては原則として特定行為区分の全 21 区分を履修し厚生労働省において登録されている。

NP としての活動の場の獲得とともにアイデンティティの獲得に苦慮したと思われる。養成大学で教鞭をとられる先生方においても教育の充実、地域病院の医師との連携に奮闘されたと思う。

アメリカにおいても指導医を見つけたり、研修医と競合したりという事実はある。アメリカの NP は、白人以外の人種の診療を任せられたり、貧困層、医療過疎の診察を担ってきている。日本の優秀な人材もアメリカの NP として活躍している。自信に満ち溢れた仕事の仕方そして、「私たちには、看護師の心と医師の技術がある」とアメリカの NP が力強く話していたのが印象的であった。

日本の医療も諸外国と同様に医師不足、医療過疎の現状がある。文化が違うから、保険制度が違うから日本には必要ない。と言わず、百聞は一見にしかず、である。

今こそ、医師と看護師が NP の法令化に向かって一枚岩になることが大切であると考えられる。日本における NP の存在意義とその教育の必要性を世間に理解して頂く今後の活動を日本 NP 教育大学院協議会に期待したい。

昨年より NP 教育に携わらせて頂いている。修士の時から研究テーマでもあるため、今回の研修は、どのように教育がなされるべきか。NP の実績をどのように公表していくと効果的であるか。卒後教育の在り方を日本にどのように導入し、法令化すると良いかを考える視察であった。NP 教育に設備と人材を潤沢投入する事は言うまでもないが、大学院生が NP としてどうあるべきかを 2 年間の教育の中で培っていく期間ではないだろうか。

看護の世界が激動している。医療界が激動している。そのようなで NP 教育に携わり、多く

の仲間を視察研修で得ることができ、今後の医療、看護の在り方を激論できる場にいる。そんな思いで、楽しく、わくわくしながら仕事をしている。「看護の心を持ち医師の技術を持ち合わせた NP の育成」、私自身、その一助を担うことができる喜びを味わいながら、日々精進する必要があると考えている。

謝辞

今回の視察研修参加をご許可くださいました学長土屋滋先生、研究科長藤澤宏幸先生、看護学科長板垣恵子先生、庄子幸恵先生、渡邊隆夫先生、渡米に当たり、ご尽力頂いた関係各位に感謝申し上げます。

V. 参考文献

・一般社団法人 日本 NP 教育大学院協議会
<https://www.joNPf.jp/about/greeting.html>
2019. 11. 4 閲覧

・日本 NP 教育大学院協議会
<https://www.joNPf.jp/> (2019. 10. 31 アクセス)

American Association of Nurse Practitioners
<http://www.aaNP.org/all-about-NPs/what-is-an-NP> (2019. 10. 31 アクセス)

・日本看護連盟ハワイ州での研修に参加して
2018. 11 会長マンスリー
<https://kango-renmei.gr.jp/monthly/35463>
2019. 11. 5 閲覧

・ハワイ州にて安楽死法成立 2019
<https://bihi.jp/5574/> 2019. 11. 4 閲覧

・外務省海外渡航世界の医療事情在外公館医務官情報ホノルル
https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/n_ame/honolulu.html 2019. 11. 4 閲覧